

50<sup>th</sup>

Anniversary  
Kobe Bunka Hall



神戸市室内管弦楽団  
Kobe City Chamber Orchestra



神戸市混声合唱団  
Kobe City Philharmonic Chorus

神戸文化ホール開館50周年記念事業

Creating in Kobe 神戸で創る「港町讃歌」

# ガラ・コンサート 「神戸から未来へ」

2023 **5.19** (金) 18:30 開演

神戸文化ホール 大ホール

主催: 神戸文化ホール(公益財団法人 神戸市民文化振興財団)

協賛: 学校法人神戸女学院 協力: 兵庫県合唱連盟 後援: 神戸新聞社

このコンサートはサントリー芸術財団の推薦コンサートです。

## 神戸市長 久元喜造



本日より3年間にわたる神戸文化ホール開館50周年記念事業がはじまります。

このシリーズのテーマは「Creating in Kobe 神戸で創る」。神戸が生み出した芸術家や芸術作品、神戸で活躍する芸術家などに焦点をあて、歴史に学び刷新しながら、神戸で新たに実演芸術を創り出すとともに人々の心と生活を豊かにし、新・神戸文化ホールにつなぐことです。本日のガラ・コンサートは「神戸から未来へ」と題され、新作や演奏会では初演となる曲も含め、すべて日本人作品による独創的なプログラムです。神戸市が誇る「神戸市室内管弦楽団」「神戸市混声合唱団」、そして指揮台には世界で活躍する山田和樹さんを迎えます。注目は、神戸が生んだ不世出の作曲家・大澤壽人さんの『ベネディクトゥス幻想曲』。加えて神戸市出身の作曲家神本真理さんの新作『暁光のタペストリー』、地元の若き語り手が加わる武満徹の名作、そして子供たちの元気な歌声が響き渡ります。

まさに神戸で創る祝宴のときを存分にお楽しみください。

公益財団法人 神戸市民文化振興財団

## 理事長 服部孝司



ようこそ神戸文化ホール50周年のガラ・コンサート「神戸から未来へ」にお越しくださいました。1973年に開館して以来、神戸市民に愛されてきた文化ホール半世紀の節目を祝して、3年をかけて行う記念事業の初年度は「Creating in Kobe 神戸で創る・港町讃歌」がテーマです。

本日のコンサートはその開幕にふさわしく、神戸が生んだ不世出の作曲家、大澤壽人による幻の名曲の世界初演(演奏会形式による)がメインのプログラムとなります。戦時下に秘かに書かれた“平和への祈り”は、戦火の絶えない世界に生きる私たちに時代を越えて魂の訴えを伝えてくれることでしょう。大澤壽人の才能を早くから評価、作品を演奏してきた指揮者、山田和樹さんが神戸市室内管弦楽団、同混声合唱団を率いて世界初演に挑むこと自体、音楽史に刻まれるエポックでもあります。

このほか、没後70年の大澤壽人の後につながる神戸市出身の若手作曲家の新作初演や地元の子どもたちによる児童合唱団など、「港町讃歌」がたっぷり堪能できるガラ・コンサートです。

さあ、みなさんも歴史の一コマに立ち会ってください。

## Message

# ガラ・コンサート「神戸から未来へ」

神戸市がプロフェッショナルのオーケストラと合唱団の両方を有していることは、世界的に見ても極めて稀なことだと思います。このように文化発信の土壌がとても豊かに育ってきた神戸の地で、文化ホールの50周年記念の演奏会の指揮者を務めさせていただくことを大変光栄に思っています。

音楽は時間あつての芸術ですが、現在と過去と未来の“時の間”の旅を皆様と一緒にできたらと思い、特別に日本人作曲家に特化したプログラムを考えました。日本から世界へ、いや宇宙へ、というのは私の活動のスローガンでもあるのですが、そこには“時の間”の旅だけではなく“空の間”の旅もできればという欲張った想いがあります。

そして、時間と空間とを超えたところで、“人の間”に彩りを添えることができると思うのです。人が集ってこそそのコンサートホール。神戸文化ホールにおいて生まれる一期一会の出逢いを大切にできればと思っています。

山田和樹

## 山田和樹 (指揮) Kazuki Yamada (Conductor)

2009年ブザンソン国際指揮者コンクールで優勝。ほどなくBBC交響楽団を指揮してヨーロッパ・デビュー。同年、ミシェル・ブラッソンの代役でパリ管弦楽団を指揮。以降、世界の主要オーケストラに客演を重ねている。2012年から18年までスイス・ロマン管弦楽団の首席客演指揮者を務めた他、2016/17シーズンから、モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団芸術監督兼音楽監督に就任。2018/19シーズンから首席客演指揮者を務めるバーミンガム市交響楽団では、23年4月から首席指揮者兼アーティスティックアドバイザーに就任。同団とは22年7月にBBCプロムスにデビュー、23年6月には日本公演を予定している。10年にわたり日本フィルハーモニー交響楽団正指揮者を務めた他、現在は読売日本交響楽団首席客演指揮者、東京混声合唱団音楽監督兼理事長、横浜シンフォニエッタの音楽監督を務めている。東京藝術大学指揮科で松尾葉子・小林研一郎の両氏に師事。出光音楽賞、渡邊暁雄音楽基金音楽賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞、実行委員会代表を務めた『柴田南雄生誕100年・没後20年記念演奏会』が文化庁芸術祭大賞、日本フィルハーモニー交響楽団と行った『山田和樹マラー・ツィクルス』が芸術選奨文部科学大臣新人賞など受賞多数。



© Yoshinori Tsuru

# PROGRAM

武満 徹 系図 — 若い人たちのための音楽詩 — (岩城宏之編曲・室内管弦楽版)  
(谷川俊太郎 詩)  
Toru Takemitsu - Family Tree - Musical Verses for Young People -

- 1.むかしむかし 2.おじいちゃん 3.おばあちゃん 4.おとうさん 5.おかあさん 6.とおく  
1.Once Upon a Time 2.Grandpa 3.Grandma 4.Dad 5.Mom 6.A Distant Place

アコーディオン: 大田智美

語り: 宇田琴音

管弦楽: 神戸市室内管弦楽団

大澤壽人 ベネディクトゥス幻想曲 (1944) (演奏会として世界初演)

Hisato Osawa - Benedictus con fantasia

ヴァイオリン: 高木和弘

管弦楽: 神戸市室内管弦楽団 合唱: 神戸市混声合唱団

武満 徹 うたより

Toru Takemitsu - Songs

小さな部屋で(川路 明 詞) / 見えないこども(谷川俊太郎 詞) / 恋のかくれんぼ(谷川俊太郎 詞)  
"Chīsana Heya de (In a Small Room)" "Mienai Kodomo (Unseen Child)" "Koi no Kakurembo (The Game of Love)"

合唱: 神戸市混声合唱団

—— 休憩20分 Intermission ——

神本真理 暁光のタペストリー (委嘱新作・世界初演)

Mari Kamimoto - à l'aube, la tapisserie...

管弦楽: 神戸市室内管弦楽団

山本直純 管弦楽と児童合唱のための えんそく

(阪田寛夫 詞)

Naozumi Yamamoto - Ensoku

- 1.光る 2.歩く時のうた 3.おべんとう 4.城跡 5.山の上の合唱 6.家路  
1.Hikaru 2.Arukutoki no Uta 3.Obento 4.Jouseki 5.Yama no Ue no Gashso 6.Ieji

管弦楽: 神戸市室内管弦楽団

合唱: 神戸文化ホール50周年記念児童合唱団(特別編成)

[指揮] 山田和樹 Kazuki Yamada

[ヴァイオリン] 高木和弘 Kazuhiro Takagi

[アコーディオン] 大田智美 Tomomi Ota [語り] 宇田琴音 Kotone Uda

[管弦楽] 神戸市室内管弦楽団 Kobe City Chamber Orchestra

[合唱] 神戸市混声合唱団 Kobe City Philharmonic Chorus

神戸文化ホール50周年記念児童合唱団 Kobe Bunka Hall 50th Anniversary Children's Choir

[コンサートマスター] 高木和弘 Kazuhiro Takagi

森岡 聡 Satoshi Morioka (「ベネディクトゥス幻想曲」)

[司会] 岡 愛子 Aiko Oka

# PROFILE



八木毅

## 高木和弘(ヴァイオリン) Kazuhiro Takagi(Violin)

6歳よりヴァイオリンを始め、国内外で数々のコンクールに優勝及び入賞を果たす。主な賞歴としては1997年度ブリュッセルで行われたエリザベート王妃国際コンクール入賞、1998年ジュネーヴ国際コンクール第3位(1位なし)などが挙げられる。国内では、2005年度文化庁芸術祭新人賞、大阪文化祭賞大賞受賞、2007年度第19回ミュージック・ペンクラブ音楽賞オーディオ部門録音作品賞を受賞。これまでに和波孝禧、森悠子、エドワード・ウルフソン、エドワード・シュミダーの各氏に師事。現在、長岡京室内アンサンブルメンバー、ダラス室内交響楽団コンサートマスター(ダラス、アメリカ)、神戸市室内管弦楽団首席コンサートマスター、いずみシンフォニエッタ大阪メンバー、A Hundred Birdsのヴァイオリニストとしても演奏活動を展開中。使用楽器は株式会社シーエヌコーポレーションエイフクより貸与された1739年製サントセラフィン。

## 大田智美(アコーディオン) Tomomi Ota(Accordion)

幼少の頃よりアコーディオンをはじめ、国立音楽大学附属音楽高等学校ピアノ科卒業後渡独。folkヴァンク音楽大学ソリストコースを満場一致の首席で卒業、ドイツ国家演奏家資格を取得。御喜美江に師事。また特待生としてウィーン私立音楽大学でも研鑽を積む。帰国後はソロや室内楽、新曲初演、オーケストラとの共演等、国内外での演奏活動と共に、日本各地の音楽大学でレクチャーを行うなど、特にクラシックや現代音楽の分野でのアコーディオンの普及にも尽力し、この楽器の魅力と可能性を発信している。近年では、NHK交響楽団定期公演、東京・春・音楽祭、サントリーホールサマーフェスティバル等に出演。CDリリースやレコーディング参加も多く、その確かな技術と音楽性を高く評価されている気鋭のアコーディオン奏者である。



© Jumpel TamaKa

## 宇田琴音(語り) Kotone Uda(Narrator)

2008年兵庫県出身。〈映画〉「天使のいる図書館」主人公の幼少時代役(2017年)。「食べる女」桃井由有羅役(小泉今日子主演)(2018年)。「10万分の1」桜木莉乃(幼少期)役(2020年)。〈ドラマ〉NHK広島放送局開局90年ドラマ「夕風の家 桜の国」石川七波役(2018年)。他、雑誌で表紙を務める等幅広く活動。2016年8月、ランヴェニスタコレクション『関西ステージ準グランプリ』、9月、スタースカウト総選挙『実行委員会特別賞』受賞。



## 大澤壽人：ベネディクトゥス幻想曲 (1944) (演奏会として世界初演)

生島美紀子(大澤資料プロジェクト代表)

神戸出身の大澤壽人(おおさわ・ひさと、1906-53)は、戦前から戦後を駆け抜けた作曲家である。日本作曲界の黎明期に留学し、交響大作を次々に完成。ボストン交響楽団を指揮した初の邦人となり、パリデビューで喝采を博し、将来を嘱望された。帰国後は欧米との落差に直面したが、楽壇を牽引し続けた。だが、その活動が激動の20世紀前半であったこと、また日本が敗戦からの復興期に47歳で急逝するなど不運が重なり、没後は半世紀近く幻の存在だった。

大澤が再び脚光を浴びたのは、ここ20年ほどである。藤本賢市氏のスクープ記事と片山杜秀氏監修のCDが世に出ると、ダイナミックで今も瑞々しい音楽が話題をさらい、「平成の復活劇」が起こった。

同じ頃、大澤家は3万点に及ぶ遺品を大澤が教壇に立った神戸女学院に寄贈。「大澤資料プロジェクト」が目録を編纂して、天才作曲家の全貌がついに姿を現した。それまで約70と思われていた作品数は千に近く、指揮者としても華麗な足跡を遺していたのである。

大澤は母の影響で讃美歌を聞いて育ち、関西学院でキリスト教教育を受け、その信条は人生を貫いた。創作史をみると、生涯にわたって宗教曲を手掛けている。《ベネディクトゥス幻想曲》は「ヴァイオリン独奏と混声合唱と管弦楽」のための作品で、カソリック教会のミサ典礼文から「ベネディクトゥス」の二文を採っている。「Benedictus qui venit in nomine Domini. 神の名のもとに 来られる方に 祝福がありますように」と、「Hosanna in excelsis. いと高きところに 栄光あれ」を繰り返す、祈りの音楽である。

自筆譜に書き込まれた創作の日付は「1944年5月」。終戦前年、空襲警報が本土に鳴り響き、無謀な軍の作戦によって多くの命が失われた時期だった。戦禍を前に大澤は人間同士の争いに苦悩した。思いに駆られ、演奏会の当てもないまま作曲の筆をとり、人知れず書き続けた。

音楽は暗く始まり、ヴァイオリンが切々と奏で、静かに入ってきた合唱がやがて大音量に至り、最後は消え入るように終わる。ことに終盤近く、合唱が同音で4回「Benedictus…」とまさに祈るように歌う箇所は聴きどころで、その後、力強い「Hosanna…」に一挙に転ずる。人知を超える神を賛美し、その神に人間の悲しみを訴え、救済と平和を求める魂の表現と言えよう。

《ベネディクトゥス幻想曲》は、作曲家自身の指揮によって戦後に2回ラジオ放送されて以降、72年間眠っていた。本日は大澤の「没後70年」を記念する復活演奏であり、「コンサート形式による世界初演」となる。

私たちは彼が直視した問題を解決できただろうか——そうでない現在の世界状況を顧みる時、祈りの音楽の復活は極めて重要な意義をもつ。魂の響きに耳を傾ける者は共感し、限らない勇気を与えられるだろう。なお、世界初演に際しては諸氏の協力があった。



大澤壽人  
神戸女学院所蔵資料  
「大澤壽人遺作コレクション」

資料提供：神戸女学院所蔵資料「大澤壽人遺作コレクション」

スコア校訂：林そよか ピアノ・ヴォーカル・スコア作成：松尾璃奈・生島美紀子

ラテン語邦訳：上倉庸敬

大澤壽人先生の《ベネディクトゥス幻想曲》(1944年5月作曲)は、  
2023年5月19日に神戸文化ホール大ホールに於いて演奏され、感動を呼びました。  
その後、演奏歴についてお問い合わせを頂きましたので、以下に記します。

### 《ベネディクトゥス幻想曲》演奏歴

① 1949年6月12日、番組名は不明  
大澤壽人指揮／大阪放送交響楽団、ヴァイオリン独奏 松生陽子  
神戸女学院大学音楽科女声合唱団、男声合唱団は不明

② 1951年12月30日「シルバータイム第33回」  
大澤壽人指揮／大阪ラジオシンフォネット、ヴァイオリン独奏 久保田良作  
大阪放送合唱団

以上が「戦後の2回」です。

その後、大澤は1953年10月28日に急逝しました。

2023年5月26日、西村理氏より新資料が見つかったとご連絡があり、大澤没後に3回目の演奏があったとのご指摘を頂きました。すなわち：

③ 1953年11月12日「朝日放送2周年記念 ABCシンフォネットの夕べ」  
服部正指揮／ABC放送管弦楽団、ヴァイオリン独奏 久保田良作  
ABC放送合唱団

これが「没後の1回」になります。

従って、プログラムノートの一文を訂正いたします。西村氏に感謝申し上げます。

《ベネディクトゥス幻想曲》は、作曲家自身の指揮によって戦後に2回ラジオ放送されて以降、72年間眠っていた。



《ベネディクトゥス幻想曲》は、作曲家自身の指揮によって戦後に2回ラジオ放送され、没後に1回演奏されて以降、70年間眠っていた。

### ③ に関連して

大澤は、幼い頃からの友人である原清（後の朝日放送会長）に声をかけられ、開局前の準備段階から ABC 朝日放送に関わっていました。そして 1951 年 11 月 11 日、大澤作曲の「朝日新聞ニュース」テーマ音楽と共に、同ラジオ放送は始動しました。

1952 年 10 月 9 日、専属指揮者に就任。

11 月 4 日には開局 1 周年を祝う「ABC 1 周年記念大演奏会 シンフォニーとシンフォネットの夕」が大々的に開催され、作曲・編曲・指揮を行いました。

③はその翌年の「朝日放送 2 周年記念 ABC シンフォネットの夕べ」です。

おそらく事前に予定されていて、急逝しなければ自身で指揮したであろうと思われます。

会場は 1 周年、2 周年共に大阪朝日会館。

1 周年は「A 席 200 円、B 席 150 円」がプレイガイドで前売りされた演奏会でした。

一方、2 周年は「公開録音」で「プログラムをもって整理券に代える」と記されています。

《ベネディクトゥス幻想曲》の演奏歴に戻れば、没後に③があるものの、それが録音を目的とし、聴衆に聴かせることを主目的としてはいない点で、2023 年 5 月 19 日の「ガラ・コンサート」とは異なります。従って、2023 年公演は意義ある「演奏会形式として世界初演」でした。

また、③のプログラムには、ABC シンフォネットアワー（大澤のレギュラー番組）の「専任編曲者であり、指揮者であった大沢寿人氏が去月急逝されたことはまことに惜しい」と書かれています。

以上を要約すれば、大澤は太平洋戦争下に平和を祈って《ベネディクトゥス幻想曲》を作曲した。その作品は、大澤を惜しんで急逝直後に演奏された。時が経過し、作曲家の「没後 70 年」に同作品が復活演奏されて、感動を呼んだ。その日はまさしく世界の平和を願う G7 広島サミット開催日だった――これらの出来事には、何かの采配が働いているようにさえ感じられます。

キリスト教的な信条が根底を貫くという意味で、《ベネディクトゥス幻想曲》は全作品の中でも一線を画す存在です。愚かな戦争の時代に、人間の根源を直視し、創作を通して光を見出そうとした「祈りの音楽」が令和の今、復活しました。人間の苦しみを訴え、平和を希求する大澤の魂の響きです。当時と同様、戦争によって国際情勢が混迷を極める中、この名作を一人でも多くの方に聴いて頂けることを願ってやみません。



なお、プログラムノートにおいて《ベネディクトゥス幻想曲》を宗教曲とした点について、シンバルは異教の楽器だから宗教曲に用いない、というご指摘もありました。ご指摘に感謝申し上げます。

この点については、同作品がミサ典礼文を採っていることを最重要と考えて、宗教曲であると捉えております。また、音楽作品が表現であるゆえに、芸術として結晶化する過程で、楽器編成は作曲家にとって必然の選択であったと考えております。

生島 美紀子（大澤資料プロジェクト代表）